

正誤表

日立財団グローバルソサエティレビュー Vol.4（2025 年 6 月発行） p.32-37

「〈連載〉統計から読み解く移民社会④ 外国人が増加すると治安が悪化するのか？ 犯罪統計による検証」に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正いたします。

該当箇所	誤	正
P33 【年齢構成の影響を考慮した犯罪率の分析方法】内	推定検挙人数（年齢別）＝外国人人口（年齢別）×年齢別検挙率（日本人）	推定検挙人数（年齢別）＝外国人人口（年齢別）×年齢別 <u>犯罪率</u> （日本人）
P34 図3 キャプション	図3 年齢別刑法犯（交通業過除く）検挙率（日本人）	図3 年齢別刑法犯（交通業過除く） <u>犯罪率</u> （日本人）
P36 右段 L4-L11	仮に 2005 年の日本人の犯罪率に従った場合の 2023 年の外国人の犯罪率の推定値を求めると、実績値は推定値の 1.05 倍の 8,583 人となった（表 1）。これは 2023 年の日本人犯罪率に従った場合の外国人と日本人の犯罪率の比である 1.3 と比べて 0.25 ポイントの低下となった。さらに 2005 年の日本人の犯罪率を用いて同様の推定を行うと、2023 年の推定検挙人員数は 12,474 人となり、実績値は推定値の 0.7 倍となった。	仮に 2005 年の日本人の犯罪率に従った場合の 2023 年の外国人の <u>刑法犯の検挙人数</u> の推定値を求めると、 <u>12,474 人となり、実績値は推定値の 0.7 倍となった</u> （表 1）。これは 2023 年の日本人犯罪率に従った場合の外国人と日本人の犯罪率の比である 1.3 と比べて <u>約 6 割程度である</u> 。さらに <u>2015 年</u> の日本人の犯罪率を用いて同様の推定を行うと、2023 年の推定検挙人員数は <u>8,583 人となり、実績値は推定値の 1.05 倍</u> となった。
P36 表 1	下記参照	下記参照

【誤】

表 1 外国人犯罪率の推定値（2015 年，2005 年基準）

	刑法犯全体	実績値／推定値	内 凶悪犯	実績値／推定値
2005 年基準	8,538 人	1.05	198 人	1.6
2015 年基準	12,474 人	0.7	284 人	1.1

出所：犯罪統計（警察庁）等より筆者作成

【正】

表 1 外国人検挙人数の推定値（2015 年，2005 年基準）

	刑法犯全体	実績値／推定値	内 凶悪犯	実績値／推定値
2005 年基準	<u>12,474</u> 人	<u>0.7</u>	<u>284</u> 人	<u>1.1</u>
2015 年基準	<u>8,538</u> 人	<u>1.05</u>	<u>198</u> 人	<u>1.6</u>

出所：犯罪統計（警察庁）等より筆者作成

なお、現在公開中の PDF は、修正を加えた最新版を公開しています。